

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

20年以上前ですが、私が当時所属していた研究室では、RC 構造物の衝撃載荷や補修補強について研究しており、当時も共同研究を行っていた当社に興味をもち入社を希望しました。配属となった防災施設部では、主に道路構造物の点検、調査・解析、設計、道路防災マネジメントおよび新技術の研究・開発を行っています。現在、落石防護構造物について大学等の研究機関と共同研究を行っており、私も土木学会、コンクリート工学会、地盤工学会等の各学会に参加しております。

技術士第二次試験は、入社以来道路構造物や落石防護構造物に関わってきたことから、受験科目は建設部門の「鋼構造及びコンクリート」や「道路」がターゲットに。2008年(平成20年)に初受験、2019年(令和元年)に合格。12回にわたって前者の科目(コンクリートを選択)を受験しました。受注業務によっては受験科目の試験内容に深く関わらない年度もあり、それを言い訳に不合格が続いてしまいました。前述の共同研究等では、関係者はみな技術士や博士号を取得済で、自分も早期に取得したいと考えていましたが、一向に合格の気配がせず2019年(令和元年)の試験前には「今年合格しなかったら受験科目を変更しよう」と悩みました。ただし、試験方法の変更や11回分の受験経験があったことから、なんとか無事に合格しました。なお、当社には資格取得を応援する制度があり、先輩技術者には時間を惜しまずに指導いただきました。合格時には皆様から声をかけていただき、自分よりも喜んでくれました。次号の泉澤くんら後輩たちが合格したときは、やはり私も(周りも)非常に嬉しく思ったものです。受験時にはみな悩みや苦しみがあったため、そう感じるのだらうと考えます。

鈴木 健太郎(すずき けんたろう)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート、道路)

勤務先

株式会社構研エンジニアリング
防災施設部



→次号は、泉澤俊彦さん(建設部門)

私は道東で生まれ育ち、学生時代には工業大学で化学を中心に勉強してきました。その後、良縁の巡り合わせで今の会社に就職し、愛着のある故郷に戻って来ることができました。

入社してしばらくは試験室での分析試験と現場作業が中心で、それらの業務に必要な資格を取得することが優先されたため、様々な試験を受けては合格(時には不合格)を繰り返し、気が付けば三十路に突入していました。その頃、技術士第1次試験が制度化されたことから受験して合格したものの、「合格者」の立場のまま月日は流れていきました。と言うのも、各種資格持ちということもあって社内での立場も上がり、任される業務も増えたことで日々の仕事が多忙を極め、なかなか次のステップに進むための時間を確保することが難しくなっていたためです。

そんな状況でしたが、会社としても、もちろん自分とっても必要な資格であることには変わりありません。取得に向け支援していただいた諸先輩方から叱咤激励を受け続け、また、応援していただいた技術士の皆さまを延々とやきもきさせていましたが、元号が変わる前に無事技術士の登録を果たすことができました。サポートしていただいた周囲の方々には本当に頭が上がりません。

技術士であり、また、種々の資格保持者という立場で業務をこなしている毎日ですが、これらは分けて考えるものではないと感じています。それぞれの考え方や知識・技術・経験をミックスし、相乗効果で成果の品質向上に反映できるよう、怠ることなく更なる研鑽を心掛けていきたいです。

渡辺 孝行(わたなべ たかゆき)

●建設部門(建設環境)

勤務先

太平洋総合コンサルタント株式会社



→次号は、舘山 誠さん(建設部門)